



#4

PATENT  
450100-03762IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

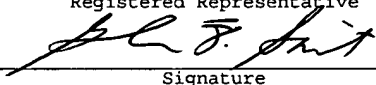
Applicants : Tetsu SHIGETOMI et al.  
Serial No. : 10/081,973  
Filed : February 21, 2002  
For : INFORMATION REPRODUCING APPARATUS AND METHOD  
OF SAME  
Art Unit : 2615

745 Fifth Avenue  
New York, New York 10151  
Tel. (212) 588-0800

I hereby certify that this correspondence is being  
deposited with the United States Postal Service as  
first class mail in an envelope addressed to:  
Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231, on June 12, 2002

Glenn F. Savit, Reg. No. 37,437

Name of Applicant, Assignee or  
Registered Representative



Signature

June 12, 2002

Date of Signature

CLAIM OF PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231

Sir:


In support of the claim of priority under 35. U.S.C.  
§ 119 asserted in the Declaration accompanying the above-entitled  
application, as filed, please find enclosed herewith a certified  
copy of Japanese Application No. 2002-025703 filed in Japan on 1  
February 2002, forming the basis for such claim.

PATENT  
450100-03762

Acknowledgment of the claim of priority and of the  
receipt of said certified copy(s) is requested.

Respectfully submitted,

FROMMER LAWRENCE & HAUG LLP  
Attorneys for Applicants

By:   
Glenn F. Savit  
Reg. No. 37,437  
Tel. (212) 588-0800

Enclosure(s)



日 本 国 特 許 庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2002年 2月 1日

出 願 番 号

Application Number:

特願2002-025703

[ST.10/C]:

[JP2002-025703]

出 願 人

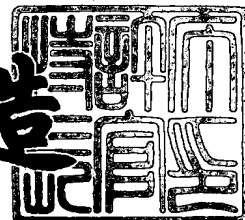
Applicant(s):

ソニー株式会社

2002年 2月19日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2002-3008713

【書類名】 特許願

【整理番号】 0200005204

【提出日】 平成14年 2月 1日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/76

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

    【氏名】 重富 哲

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

    【氏名】 杉谷 弘文

【発明者】

    【住所又は居所】 東京都品川区北品川 6 丁目 7 番 3 5 号 ソニー株式会社  
内

    【氏名】 倉地 達朗

【特許出願人】

    【識別番号】 000002185

    【氏名又は名称】 ソニー株式会社

【代理人】

    【識別番号】 100094053

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 佐藤 隆久

【先の出願に基づく優先権主張】

    【出願番号】 特願2001- 48058

    【出願日】 平成13年 2月23日

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 014890

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707389

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 情報再生装置およびその方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 順次供給される、コマーシャル放送情報を含んだ一連の放送情報を、供給される順序と関連付けて記憶する記憶手段と、

上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報を検出するコマーシャル検出手段と、

上記記憶手段に記憶された放送情報を再生する再生手段と、

上記検出されたコマーシャル放送情報を、上記記憶手段から順に読み出して上記再生手段に再生させ、上記検出されたコマーシャル放送情報が全て再生された場合、当該コマーシャル放送情報を除く他の一連の放送情報を、上記供給順序に応じて上記記憶手段から順に読み出し、上記再生手段に再生させる制御手段と、  
を有する情報再生装置。

【請求項 2】 上記制御手段は、上記コマーシャル放送情報の再生時において、視聴確認メッセージを少なくとも 1 回生成して上記再生手段に再生させるとともに、上記記憶手段からの放送情報の読み出しを停止し、当該視聴確認メッセージに対する応答信号が検出された場合に、上記放送情報の読み出しを再開する

請求項 1 に記載の情報再生装置。

【請求項 3】 上記制御手段は、上記検出されたコマーシャル放送情報を、当該コマーシャル放送情報が供給された順序に応じて上記記憶手段から順に読み出す、

請求項 1 に記載の情報再生装置。

【請求項 4】 上記制御手段は、上記検出されたコマーシャル放送情報が上記記憶手段において記憶される先頭のアドレスと、上記識別情報において指定される当該コマーシャル放送情報のデータ長とにより特定されるコマーシャル放送情報を、上記記憶手段から順に読み出す、

請求項 1 に記載の情報再生装置。

【請求項 5】 上記コマーシャル検出手段は、上記放送情報の画像データに

含まれる電子透かし情報に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、  
請求項1に記載の情報再生装置。

【請求項6】 上記コマーシャル検出手段は、上記放送情報の再生画像が不連続に変化するシーンチェンジを検出し、当該検出されたシーンチェンジが再生画像において発生する時間間隔に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項1に記載の情報再生装置。

【請求項7】 上記コマーシャル検出手段は、上記放送情報の再生音声レベルの変動に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項1に記載の情報再生装置。

【請求項8】 順次供給される、コマーシャル放送情報を含んだ一連の放送情報を、供給される順序と関連付けて記憶する記憶手段と、

上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報を検出するコマーシャル検出手段と、

上記記憶手段に記憶された放送情報を再生する再生手段と、

上記再生手段において再生されるコマーシャル放送情報を指定するコマーシャル指定信号を入力する入力手段と、

上記一連の放送情報を上記記憶手段から上記供給順序に応じて順に読み出し、上記再生手段に再生させるとともに、上記検出されたコマーシャル放送情報に対応する画像情報を生成し、上記一連の放送情報の再生画像に合成させて上記再生手段に再生させ、上記コマーシャル指定信号が入力された場合、当該コマーシャル指定信号において指定されたコマーシャル放送情報を上記記憶手段から読み出して上記再生手段に再生させ、以降の上記一連の放送情報の再生において、再生済みのコマーシャル放送情報を再生させずに飛び越して放送情報を再生させる制御手段と

を有する情報再生装置。

【請求項9】 上記制御手段は、上記コマーシャル指定信号が入力された場合、上記一連の放送情報の再生を中断させて、指定されたコマーシャル放送情報を上記再生手段に再生させる、

請求項 8 に記載の情報再生装置。

【請求項 10】 上記制御手段は、上記検出されたコマーシャル放送情報の再生画像の静止画像と、上記一連の放送情報の再生画像とを合成させて、上記再生手段に再生させる、

請求項 8 に記載の情報再生装置。

【請求項 11】 上記制御手段は、上記コマーシャル指定信号に応じてコマーシャル放送情報が再生された場合、以降の上記一連の放送情報の再生において、上記再生手段の表示領域から当該コマーシャル放送情報の静止画像を消去する、

請求項 10 に記載の情報再生装置。

【請求項 12】 上記制御手段は、上記コマーシャル指定信号に応じてコマーシャル放送情報が再生された場合、以降の上記一連の放送情報の再生において、当該コマーシャル放送情報の静止画像を、再生済みのコマーシャル放送情報を示す所定の画像に変更する、

請求項 10 に記載の情報再生装置。

【請求項 13】 上記制御手段は、上記検出されたコマーシャル放送情報が上記記憶手段において記憶される先頭のアドレスと、上記識別情報において指定される当該コマーシャル放送情報のデータ長とにより特定されるコマーシャル放送情報を、上記記憶手段から順に読み出す、

請求項 8 に記載の情報再生装置。

【請求項 14】 上記コマーシャル検出手段は、上記放送情報の画像データに含まれる電子透かし情報に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項 8 に記載の情報再生装置。

【請求項 15】 上記放送情報の再生画像が不連続に変化するシーンチェンジを検出し、当該検出されたシーンチェンジが再生画像において発生する時間間隔に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項 8 に記載の情報再生装置。

【請求項 16】 上記コマーシャル検出手段は、上記放送情報の再生音声レベルの変動に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、



請求項 8 に記載の情報再生装置。

【請求項 17】 順次供給される、コマーシャル放送情報を含んだ一連の放送情報を、供給される順序と関連付けて記憶する記憶ステップと、

上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報を検出するコマーシャル検出ステップと、

上記検出されたコマーシャル放送情報を、上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から抽出して再生し、

上記検出されたコマーシャル放送情報が全て再生された場合、当該コマーシャル放送情報を除く他の一連の放送情報を、上記供給順序に応じて、上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から順に抽出し再生する再生ステップと、

を有する情報再生方法。

【請求項 18】 上記再生ステップは、上記コマーシャル放送情報の再生時において、視聴確認メッセージを少なくとも 1 回生成して再生するとともに、上記放送情報の再生を停止し、当該視聴確認メッセージに対する応答信号が検出された場合に、上記放送情報の再生を再開する、

請求項 17 に記載の情報再生方法。

【請求項 19】 上記再生ステップは、上記検出されたコマーシャル放送情報を、当該コマーシャル放送情報が供給された順序に応じて再生する、

請求項 17 に記載の情報再生方法。

【請求項 20】 上記コマーシャル検出ステップは、上記放送情報の画像データに含まれる電子透かし情報に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項 17 に記載の情報再生方法。

【請求項 21】 上記コマーシャル検出ステップは、上記放送情報の再生画像が不連続に変化するシーンチェンジを検出し、当該検出されたシーンチェンジが再生画像において発生する時間間隔に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項 17 に記載の情報再生方法。

【請求項 22】 上記コマーシャル検出ステップは、上記放送情報の再生音

声レベルの変動に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項 17 に記載の情報再生方法。

【請求項 23】 順次供給される、コマーシャル放送情報を含んだ一連の放送情報を、供給される順序と関連付けて記憶する記憶ステップと、

上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報を検出するコマーシャル検出ステップと、

上記一連の放送情報を、上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から上記供給順序に応じて順に抽出して再生するとともに、上記検出されたコマーシャル放送情報に対応する画像情報を生成し、上記一連の放送情報の再生画像に合成し、

上記コマーシャル指定信号が入力された場合、当該コマーシャル指定信号において指定されたコマーシャル放送情報を上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から抽出して再生し、以降の上記一連の放送情報の再生において、再生済みのコマーシャル放送情報を再生させずに飛び越して放送情報を再生する再生ステップと

を有する情報再生方法。

【請求項 24】 上記再生ステップは、上記コマーシャル指定信号が入力された場合、上記一連の放送情報の再生を中断して、指定されたコマーシャル放送情報を再生する、

請求項 23 に記載の情報再生方法。

【請求項 25】 上記再生ステップは、上記検出されたコマーシャル放送情報の再生画像の静止画像と、上記一連の放送情報の再生画像とを合成する、

請求項 23 に記載の情報再生方法。

【請求項 26】 上記再生ステップは、上記コマーシャル指定信号に応じてコマーシャル放送情報を再生した場合、以降の上記一連の放送情報の再生において、再生画像の表示領域から当該コマーシャル放送情報の静止画像を消去する、

請求項 25 に記載の情報再生方法。

【請求項 27】 上記再生ステップは、上記コマーシャル指定信号に応じてコマーシャル放送情報を再生した場合、以降の上記一連の放送情報の再生におい

て、当該コマーシャル放送情報の静止画像を、再生済みのコマーシャル放送情報を示す所定の画像に変更する、

請求項 25 に記載の情報再生方法。

【請求項 28】 上記コマーシャル検出ステップは、上記放送情報の画像データに含まれる電子透かし情報に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項 23 に記載の情報再生方法。

【請求項 29】 上記コマーシャル検出ステップは、上記放送情報の再生画像が不連続に変化するシーンチェンジを検出し、当該検出されたシーンチェンジが再生画像において発生する時間間隔に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項 23 に記載の情報再生方法。

【請求項 30】 上記コマーシャル検出ステップは、上記放送情報の再生音声レベルの変動に基づいて、上記コマーシャル放送情報を検出する、

請求項 23 に記載の情報再生方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、コマーシャル放送情報を含んだ放送情報を再生する情報再生装置およびその方法に係り、例えば、コマーシャルを含んだテレビジョン放送やラジオ放送などの放送信号を再生する情報再生装置およびその方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

テレビジョン放送の録画および再生装置として、従来は VTR (Video Tape Recorder) が一般的に用いられてきたが、近年におけるテレビジョン放送の一部デジタル化やハードディスク装置の価格低下に伴って、デジタルのテレビジョン信号をハードディスク装置に記憶させる録画・再生装置が台頭しつつある。

【0003】

VTRを使ったテレビジョン放送のタイムシフト視聴においては、番組に含まれているコマーシャル部分を早送りにして再生したり、あるいはVTRに備わったコマーシャル・カット機能を使ってコマーシャルだけを録画しないことにより、目的の番組だけを視聴することは一般的に行われている。

【0004】

しかしながら、VTRにおいて再生を早送りにしても画像が消されている訳ではないので、どのようなコマーシャルが放送されているかを把握することは可能であり、視聴者の目にとまる画像が含まれている場合には、早送り再生が停止されてコマーシャルが視聴される場合もあり得る。

【0005】

また、VTRのコマーシャル・カット機能では、例えば音声信号の種類（ステレオ放送か否か等）などからコマーシャル部分が検出されているが、目的の放送がステレオ放送の場合には、通常ステレオ放送であるコマーシャル部分を検出することはできない。また、音声の強弱やシーンの切り替わり時間の間隔などからコマーシャルを検出する方法もあるが、検出が不完全な場合にはコマーシャルを除去しきれなかったり、または目的の番組の一部がカットされてしまうこともある。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、ハードディスク装置などのようにアクセス速度が高速な記憶装置を用いる録画・再生装置では、テープを機械的に巻き取るVTRなどに比べて番組の検索が高速化するので、再生時においてコマーシャルだけをスキップされると、視聴者にコマーシャルがほとんど視聴されなくなる可能性がある。

【0007】

一方、視聴者に無料で放送コンテンツを提供するテレビジョンの放送局は、その収入のほとんどをコマーシャル放送による広告料から得ているので、このような録画・再生装置によるタイムシフト視聴が世間に浸透して視聴者にコマーシャル放送が視聴されなくなると、コマーシャル放送の広告としての効果が低減してしまい、広告収入が低下して、放送局の経営が成り立たなくなる恐れもある。

## 【0008】

本発明はかかる事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、放送情報に含まれるコマーシャル放送情報を視聴者に確実に視聴させる情報再生装置およびその方法を提供することにある。

## 【0009】

## 【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、本発明の第1の観点に係る情報再生装置は、順次供給される、コマーシャル放送情報を含んだ一連の放送情報を、供給される順序と関連付けて記憶する記憶手段と、上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報を検出するコマーシャル検出手段と、上記記憶手段に記憶された放送情報を再生する再生手段と、上記検出されたコマーシャル放送情報を、上記記憶手段から順に読み出して上記再生手段に再生させ、上記検出されたコマーシャル放送情報が全て再生された場合、当該コマーシャル放送情報を除く他の一連の放送情報を、上記供給順序に応じて上記記憶手段から順に読み出し、上記再生手段に再生させる制御手段とを有する。

## 【0010】

また、好適には、上記制御手段は、上記コマーシャル放送情報の再生時において、視聴確認メッセージを少なくとも1回生成して上記再生手段に再生させるとともに、上記記憶手段からの放送情報の読み出しを停止し、当該視聴確認メッセージに対する応答信号が検出された場合に、上記放送情報の読み出しを再開する。

## 【0011】

本発明の第1の観点に係る情報再生装置によれば、順次供給される上記一連の放送情報が、供給される順序と関連付けて上記記憶手段に記憶される。また上記コマーシャル検出手段において、上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報が検出される。

上記一連の放送情報の再生時に、まず上記検出されたコマーシャル放送情報が、上記記憶手段から順に読み出されて上記再生手段において再生される。上記検出されたコマーシャル放送情報が全て再生された場合、当該コマーシャル放送情

報を除く他の一連の放送情報が、上記供給順序に応じて上記記憶手段から順に読み出され、上記再生手段に再生される。

また、上記コマーシャル放送情報の再生時において、視聴確認メッセージが少なくとも1回生成されて上記再生手段に再生されるとともに、上記記憶手段からの放送情報の読み出しが停止され、当該視聴確認メッセージに対する応答信号が検出された場合に、上記放送情報の読み出しが再開される。

【0012】

本発明の第2の観点に係る情報再生装置は、順次供給される、コマーシャル放送情報を含んだ一連の放送情報を、供給される順序と関連付けて記憶する記憶手段と、上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報を検出するコマーシャル検出手段と、上記記憶手段に記憶された放送情報を再生する再生手段と、上記再生手段において再生されるコマーシャル放送情報を指定するコマーシャル指定信号を入力する入力手段と、上記一連の放送情報を上記記憶手段から上記供給順序に応じて順に読み出し、上記再生手段に再生させるとともに、上記検出されたコマーシャル放送情報に対応する画像情報を生成し、上記一連の放送情報の再生画像に合成させて上記再生手段に再生させ、上記コマーシャル指定信号が入力された場合、当該コマーシャル指定信号において指定されたコマーシャル放送情報を上記記憶手段から読み出して上記再生手段に再生させ、以降の上記一連の放送情報の再生において、再生済みのコマーシャル放送情報を再生させずに飛び越して放送情報を再生させる制御手段とを有する。

【0013】

本発明の第2の観点に係る情報再生装置によれば、順次供給される上記一連の放送情報が、供給される順序と関連付けて上記記憶手段に記憶される。また上記コマーシャル検出手段において、上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報が検出される。

上記一連の放送情報の再生時に、上記一連の放送情報が上記記憶手段から上記供給順序に応じて順に読み出され、上記再生手段において再生されるとともに、上記検出されたコマーシャル放送情報に対応する画像情報が生成され、上記一連

の放送情報の再生画像に合成されて上記再生手段に再生される。そして、上記再生手段において再生されるコマーシャル放送情報を指定するコマーシャル指定信号が上記入力手段に入力された場合、当該コマーシャル指定信号において指定されたコマーシャル放送情報が上記記憶手段から読み出され上記再生手段において再生され、以降の上記一連の放送情報の再生においては、この再生済みのコマーシャル放送情報が再生されずに飛び越されて、他の放送情報が再生される。

## 【0014】

本発明の第3の観点に係る情報再生方法は、順次供給される一連の放送情報を、供給される順序と関連付けて記憶する記憶ステップと、上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報を検出するコマーシャル検出ステップと、上記検出されたコマーシャル放送情報を、上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から抽出して再生し、上記検出されたコマーシャル放送情報が全て再生された場合、当該コマーシャル放送情報を除く他の一連の放送情報を、上記供給順序に応じて、上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から順に抽出し再生する再生ステップとを有する。

## 【0015】

また、好適には、上記再生ステップは、上記コマーシャル放送情報の再生時において、視聴確認メッセージを少なくとも1回生成して再生するとともに、上記放送情報の再生を停止し、当該視聴確認メッセージに対する応答信号が検出された場合に、上記放送情報の再生を再開する。

## 【0016】

本発明の第3の観点に係る情報再生方法によれば、順次供給される上記一連の放送情報が、供給される順序と関連付けて記憶され、上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報が検出される。上記一連の放送情報の再生時に、まず上記検出されたコマーシャル放送情報が、上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から抽出されて再生される。上記検出されたコマーシャル放送情報が全て再生された場合、次に当該コマーシャル放送情報を除く他の一連の放送情報が、上記供給順序に応じて、上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から順に抽出されて再生される。

また、上記コマーシャル放送情報の再生時において、視聴確認メッセージが少なくとも1回生成されて再生されるとともに、上記放送情報の再生が停止され、当該視聴確認メッセージに対する応答信号が検出された場合に、上記放送情報の再生が再開される。

## 【0017】

本発明の第4の観点に係る情報再生方法は、順次供給される上記一連の放送情報を、供給される順序と関連付けて記憶する記憶ステップと、上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報を検出するコマーシャル検出ステップと、上記一連の放送情報を、上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から上記供給順序に応じて順に抽出して再生するとともに、上記検出されたコマーシャル放送情報に対応する画像情報を生成し、上記一連の放送情報の再生画像に合成し、上記コマーシャル指定信号が入力された場合、当該コマーシャル指定信号において指定されたコマーシャル放送情報を上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から抽出して再生し、以降の上記一連の放送情報の再生において、再生済みのコマーシャル放送情報を再生させずに飛び越して放送情報を再生する再生ステップとを有する。

## 【0018】

本発明の第4の観点にかかる情報再生方法によれば、順次供給される上記一連の放送情報が、供給される順序と関連付けて記憶され、上記放送情報に含まれる所定の識別情報に基づいて、上記放送情報からコマーシャル放送情報が検出される。上記一連の放送情報の再生時に、この一連の放送情報が上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から上記供給順序に応じて順に抽出されて再生されるとともに、上記検出されたコマーシャル放送情報に対応する画像情報が生成され、上記一連の放送情報の再生画像に合成される。上記コマーシャル指定信号が入力された場合、当該コマーシャル指定信号において指定されたコマーシャル放送情報が上記記憶ステップにおいて記憶された放送情報から抽出されて再生され、以降の上記一連の放送情報の再生において、この再生済みのコマーシャル放送情報が再生されずに飛び越されて、他の放送情報が再生される。

## 【0019】



## 【発明の実施の形態】

## ＜第1の実施形態＞

まず、本発明の第1の実施形態について、図1～図5を参照しながら説明する。

図1は、本発明に係る情報再生装置100の構成例を示す図である。図1に示す情報再生装置100は、復調部1、A/D変換部2、記憶部3、D/A変換部4、再生部5、コマーシャル検出部6、制御部7、および入力部8を有する。

## 【0020】

以下、図1の各構成について説明する。

復調部1は、放送信号Svを受信して復調した信号をA/D変換部2へ出力する。例えば、図示しないアンテナで受信された放送信号から特定の放送局の信号を選択し、これに中間周波増幅および検波を行ってコンポジット・ビデオ信号を再生し、さらにこれを復調して輝度信号および色差信号あるいは色信号を生成し、これをA/D変換部2に出力する。また、例えば放送信号に含まれる音声信号についても中間周波数増幅および検波を行ってこれを再生し、A/D変換部2へ出力する。

## 【0021】

A/D変換部2は、復調部1において復調された画像信号や音声信号などを含む放送信号をデジタル化し、記憶部3およびコマーシャル検出部6に出力する。

## 【0022】

記憶部3は、A/D変換部2でデジタル化された放送信号のデータ（放送データ）を、制御部7の制御に応じて順次記憶する。またこれらの放送データを、A/D変換部2においてデジタル化される順序、すなわち放送の順序と関連付けて記憶する。したがって、この順序と対応させながら記憶部3の放送データを順に読み出して再生することにより、放送データを放送の順序で正しく再生できる。

例えば、A/D変換部2においてデジタル化されて記憶部3に入力される放送データを、所定の先頭アドレスから所定のアドレス間隔で順次記憶させることにより、放送データのアドレスとデータの入力順序とが関連付けられ、放送データを入力順序通りに読み出して再生することができる。

## 【0023】

D/A変換部4は、記憶部3から読み出されるデジタルの放送データをアナログの信号に変換し、再生部5に出力する。例えばアナログの輝度信号や色差信号、音声信号を再生部5に出力する。

再生部5は、D/A変換部4からのアナログ信号から画像や音声などを再生するブロックであり、例えばCRTやスピーカなどにより構成される。なお、LCDなどのようにデジタルデータを受けて画像を再生する装置の場合には、D/A変換部4を経ずに直接記憶部3からのデジタルデータを再生部5に入力させても良い。

## 【0024】

コマーシャル検出部6は、A/D変換部2においてデジタル化された放送データに基づいて、放送データの中からコマーシャル部分を検出し、検出結果を制御部7に通知する。

コマーシャル部分を検出させる最も確実な方法として、放送信号にコマーシャル部分を識別させるための情報（識別情報）をあらかじめ付加させておき、これを検出する方法がある。例えば、放送信号において使用されていない部分（垂直帰線期間など）にコマーシャル識別用のデータを重畳させ、これをコマーシャル検出部6において検出させても良い。あるいは、コマーシャル部分の画像データにコマーシャル識別用の電子透かしを挿入させておき、これをコマーシャル検出部6において復号させても良い。

## 【0025】

また、放送データの再生画像が不連続に変化するシーンチェンジを検出することによって、コマーシャル部分を検出することも可能である。一般的にコマーシャルにおけるシーンチェンジは1～2秒間に1回存在し、通常の番組ではシーンチェンジの比較的多いニュース番組などにおいても7～10秒程度であることが知られているので、このシーンチェンジの時間間隔の差を利用して、コマーシャルを検出することができる。シーンチェンジの検出に関しては、例えば文献”特開平9-312827”において詳しく説明されている。コマーシャル検出部6にこのような手法を適用して、コマーシャル部分を検出させても良い。

また、通常の番組に比べてコマーシャル部分の音声レベルが大きくなることを利用して、音声レベルの変化からコマーシャル部分を検出させても良い。

その他、コマーシャル部分の検出に関する種々の手法がコマーシャル検出部 6 において適用可能である。

#### 【0026】

制御部 7 は、入力部 8 から入力されるユーザの指示 S c に従って、放送信号の記録と再生に関する情報再生装置 100 の動作を制御するブロックである。

例えば、特定の時間に放送される特定の放送局の番組を放送データとして記憶部 3 に記憶させる指示が入力部 8 から入力された場合、この特定の時間において復調部 1 に特定の放送局の放送信号を受信・復調させ、復調された画像信号や音声信号を A/D 変換部 2 においてデジタルの放送データに変換させて、記憶部 3 に順次記憶させる。このとき、コマーシャル検出部 6 において放送データにコマーシャル部分が検出された場合には、このコマーシャルの放送データが記憶部 3 に記憶される記憶領域を特定するための情報を、図示しない記憶部（あるいは記憶部 3 でも良い）に順次記憶させる。例えば、検出されたコマーシャル部分の先頭のデータが記憶されるアドレスと、放送データに含まれるコマーシャル時間に関する情報（すなわちコマーシャル部分のデータ長に関する情報）とを、コマーシャル部分が検出される順序と関連付けて記憶させる。この記憶されたアドレスとデータ長の情報から、記憶部 3 のコマーシャル部分の記憶領域を特定することができる。

#### 【0027】

また、記憶部 3 に記憶されたこの放送データを再生させる指示が入力部 8 から入力された場合には、まず再生を指示された番組に含まれるコマーシャル部分を、上述した記憶領域の特定情報に基づいて記憶部 3 から順次読み出し、これを D/A 変換部 4 においてアナログ信号に変換させて再生部 5 において画像や音声などとして再生させる。そして、この指示された番組に含まれるコマーシャル部分が全て再生された場合に、この番組のコマーシャル部分を除く他の部分の放送データを記憶部 3 から順に読み出して再生させる。

#### 【0028】

このようにコマーシャル部分だけを初めに連続して再生させるモードの他に、通常の再生モード、すなわち放送局において設定された順序のままで放送データを順に再生させるモードを、ユーザからの指示Scに応じて選択可能にしても良い。

また、ユーザにコマーシャルを確実に視聴させるために、連続してコマーシャルが再生される期間において、ユーザに何らかの入力操作を行わせても良い。例えばこのコマーシャル期間において、ユーザの入力操作を促す画像や音声などのメッセージを再生部5において再生させるとともに、コマーシャルやその他の番組の再生を停止させ、このメッセージに対するユーザのからの応答が入力部8に入力された場合に、番組の再生を再開させる。これにより、コマーシャルの連続再生期間においても、ユーザの注意をコマーシャルに向けさせることができる。

#### 【0029】

入力部8は、ユーザからの指示Scを入力して制御部17に出力するブロックである。たとえばVTRやテレビジョン受信機などに一般的に付属しているリモートコントローラや、コンピュータ装置に付属しているマウスなど、種々のマン・マシン・インターフェース装置が、この入力部8に適用可能である。

#### 【0030】

ところで、図1に示す情報再生装置100の復調部1において復調される放送信号はアナログ信号であるが、これがデジタルデータの場合についても本発明は適用可能である。

図2は、本発明に係る情報再生装置の他の構成例を示す図であり、この例において復調される放送信号は圧縮符号化されたデジタルデータである。図2に示す情報再生装置101は、復調部11、パケット分離部12、記憶部13、デコード部14、D/A変換部15、再生部16、コマーシャル検出部17、制御部18、および入力部19を有する。

なお、図2の構成例における記憶部13、D/A変換部15、再生部16、制御部18および入力部19については、図1の構成例における記憶部3、D/A変換部4、再生部5、制御部7および入力部8とそれぞれ同等な機能を有しているので、以下これらについての説明は割愛し、復調部11、パケット分離部12

、デコード部 14 およびコマーシャル検出部 17 についてのみ説明する。

【0031】

復調部 11 は、デジタル変調された放送信号を復調し、例えば M P E G 2 などの方式によって圧縮符号化・多重化された放送データの packets を packets 分離部 12 に出力する。

packets 分離部 12 は、多重化された放送データの packets から目的の放送データが含まれる packets を分離・抽出し、記憶部 13 およびコマーシャル検出部 17 に出力する。

【0032】

コマーシャル検出部 17 は、packets 分離部 12 において抽出された packets に含まれる所定の識別情報に基づいて、番組の中からコマーシャル部分を検出する。なお、図 1 のコマーシャル検出部 6 に関して説明した他の種々のコマーシャル検出方法をこのコマーシャル検出部 17 に適用させることも可能である。

【0033】

デコード部 14 は、圧縮符号化された放送データを復号して画像データや音声データなどを含む放送信号を再生し、これを D/A 変換部 15 に出力する。

【0034】

次に、上述した図 1 または図 2 に示す情報再生装置の具体的な動作について説明する。

図 3 は、本発明の第 1 の実施形態における、放送データの記録動作の例を説明するためのフローチャートである。

ステップ S T 1 1 :

図 1 の情報再生装置 100 においては、入力部 8 に入力されたユーザの指示 S c によって、特定の時間に特定の放送局の番組を記録させる指示が制御部 7 にセットされると、この特定の時間に特定の放送局の番組が復調部 1 において受信・復調され、この復調されたアナログ信号が A/D 変換部 2 でデジタル化されて、記憶部 3 に順次記憶される。

同様に図 2 の情報再生装置 101 においても、入力部 19 に入力されたユーザの指示 S c に応じて特定の時間に特定の放送局の番組が復調部 1 において受信・

復調され、復調されたパケットから特定の番組のパケットがパケット分離部 12 において抽出されて、記憶部 13 に順次記憶される。

【0035】

ステップ ST12 :

図 1 の記憶部 3 (図 2 においては記憶部 13) に記憶される放送データがコマーシャル部分に含まれるか否かがコマーシャル検出部 6 (図 2 においてはコマーシャル検出部 17) において検出される。コマーシャル部分に含まれる放送データが検出された場合には、ステップ ST13 が実行される。

【0036】

ステップ ST13 :

ステップ ST12 において放送データがコマーシャル部分に含まれることが検出された場合、このコマーシャル部分が記憶部 3 (図 2 においては記憶部 13) に記憶される領域を特定するための情報が、図示しない記憶部に記憶される。

【0037】

ステップ ST14 :

図 1 の記憶部 3 (図 2 においては記憶部 13) に対する放送データの記録を終了させるか否かが制御部 7 (図 2 においては制御部 18) において判断される。例えば、入力部 8 からのユーザの指示において設定される番組の記録終了時間に応じて判断される。

【0038】

このようにして、記憶部 3 (図 2 においては記憶部 13) に記憶される放送データのうちのコマーシャル部分が特定される。次に述べる放送データの再生動作においては、この特定されたコマーシャル部分が再生開始後にまとめて再生される。

【0039】

図 4 は、本発明の第 1 の実施形態における、放送データの再生動作の例を説明するためのフローチャートである。

ステップ ST21 :

入力部 8 に入力されるユーザからの指示 Sc において、記憶部 3 に記憶された

放送データの再生が指示されると、上述のようにして記憶領域を特定されているコマーシャル部分の放送データが記憶部3から読み出され、D/A変換部4においてアナログ信号に変換されて、再生部5において画像や音声などとして再生される。

同様に図2の情報再生装置101においては、記憶領域を特定されたコマーシャル部分の放送データが記憶部13から読み出され、デコード部14において画像データや音声データに復号され、この画像データや音声データがD/A変換部15においてアナログ信号に変換されて、再生部16において再生される。

#### 【0040】

なお、ユーザにコマーシャルを確実に視聴させるために、このステップにおいてユーザに何らかの入力操作を行わせても良い。例えば、ユーザの入力操作を促す画像や音声などを再生部5（図2においては再生部16）において再生させるとともに、コマーシャルその他の番組の再生を停止させ、これに対するユーザからの応答が入力部8（図2においては入力部19）に入力された場合に、番組の再生を再開させる。これにより、コマーシャルの連続再生期間においても、ユーザの注意をコマーシャルに向けさせることができる。

#### 【0041】

##### ステップST22：

あらかじめ記憶領域を特定されているコマーシャル部分の再生が終了したか否かが制御部7（図2においては制御部18）において判断される。コマーシャルの再生が終了した場合にはステップST23に処理が移行され、再生がまだ終了していない場合にはステップST21へ処理が戻され、まだ再生されていないコマーシャル部分の再生処理が行われる。

#### 【0042】

##### ステップST23：

コマーシャル部分の再生が終了した後は、コマーシャル以外の放送データが記憶部3（図2においては記憶部13）から読み出されて、順次再生される。

##### ステップST24：

番組の再生を終了させるか否かが制御部7（図2においては制御部18）にお

いて判断される。例えば記憶部 3（図においては記憶部 13）に記憶されている放送データの末尾に達した場合や、入力部 8（図 2 においては入力部 19）からユーザに番組の再生終了を指示された場合において番組の再生を終了させる。また、このような再生終了の条件にない場合にはステップ ST 23 に戻って放送データの再生が続行される。

#### 【0043】

図 5 は、受信される放送データの一例を示す図である。

図 5 a は、放送局側において設定された順序で並ぶ放送データであり、図 5 a の放送データ P 1 ～放送データ P 12 はコマーシャル部分を示し、放送データ P 101 ～放送データ P 103 はコマーシャル以外の番組を示している。図 5 a の例において、コマーシャル以外の番組は 3 つの部分に分割されている。

また、それぞれのコマーシャル部分に対応する識別データ CMA-1 ～識別データ CMD-2 や、各コマーシャルの時間に関するデータが、コマーシャル部分の放送データに付加されており、コマーシャル検出部 6（図 2 においてはコマーシャル検出部 17）においてこれらのデータが検出されることにより、放送データからコマーシャルが特定される。

#### 【0044】

図 5 b は、図 1 または図 2 に示す情報再生装置において再生順序が変更された放送データを示す図であり、図 5 a の放送データにおいて挿入されているコマーシャル部分の放送データが全て再生の初期にまとめられ、コマーシャル以外の番組部分がその後まとめられている。

#### 【0045】

以上説明したように、図 1 または図 2 に示す情報再生装置によれば、順次供給される一連の放送データが、供給される順序と関連付けて記憶部 3（図 2 においては記憶部 13）に記憶される。また、この放送データに含まれる所定の識別情報に基づいて、放送データのコマーシャル部分がコマーシャル検出部 6（図 2 においてはコマーシャル検出部 17）に検出される。放送データの再生時に、この検出されたコマーシャル部分がまず記憶部 3（図 2 においては記憶部 13）から順に読み出されて再生部 5（図においては再生部 16）において画像や音声など



に再生される。そして、この検出されたコマーシャル部分が全て再生された場合、コマーシャル部分を除く他の一連の放送データが供給順序に応じて記憶部3（図2においては記憶部13）から順に読み出され、再生部5（図2においては再生部16）において再生される。したがって、例えば映画などのようにコマーシャルが途中で挿入されることで興味が削がれてしまうコンテンツにおいて、番組を途切れさせることなく視聴可能となるため、ユーザのコマーシャルに対する不満を低減できる。また、普段は退屈なコマーシャルの違った視聴方法がユーザに提供されるとともに、番組の流れに沿わないコマーシャルが無理に挿入される場合と比べて肯定的にコマーシャルが視聴されるので、コマーシャルの広告としての効果を高めることができる。

## 【0046】

また、コマーシャル部分の再生時に、ユーザのコマーシャルの視聴を確認するためのメッセージを少なくとも1回再生部5（図2においては再生部16）に再生させるとともに、記憶部3（図2においては記憶部13）からの放送データの読み出しを停止させ、このメッセージに対するユーザからの応答が入力部8に入力された場合に、放送データの読み出しと再生を再開させても良い。これにより、まとめて再生されるコマーシャルを確実にユーザに視聴させることができるので、コマーシャルの広告としての効果を高めることができる。

## 【0047】

なお、コマーシャル部分の再生順序は、コマーシャルの放送データが供給される順序（すなわち放送局側で設定された放送順序）のままで良いし、例えばランダムに順序を入れ替えて再生させても良い。

## 【0048】

## &lt;第2の実施形態&gt;

次に本発明の第2の実施形態について、図6および図7を参照して説明する。

第2の実施形態は、番組の記録時に特定されるコマーシャルに対応した画像を、番組の通常の再生画像に合成して表示させ、番組の再生途中にユーザが任意に選択したコマーシャルを視聴可能にするものである。

## 【0049】

なお、第 2 の実施形態に係る情報再生装置の構成例としては、図 1 または図 2 において説明されたものがそのまま適用可能であるので、装置の構成についての説明は割愛し、以下の説明においては図 1 および図 2 も参照する。

また、本実施形態における放送データの記録動作は、図 3 のフローチャートを参照して説明した第 1 の実施形態の動作と同等であるので、これについての説明も割愛する。以下においては、本実施形態に係る放送データの再生動作について説明する。

#### 【 0 0 5 0 】

記録された番組の再生を指示するユーザからの信号が入力部 8（図 2 においては入力部 1 9）に入力されると、指示された番組が記憶部 3（図 2 においては記憶部 1 3）から読み出されて再生される。またこれとともに、指示された番組のコマーシャル部分に対応する画像、例えばコマーシャルの先頭部分の静止画像や、放送データから検出されるコマーシャルに関する情報（例えばコマーシャルの時間などの情報）を示す文字・図形などが、画面上の所定部分に表示される。例えば図 7 に示す再生部の表示画面の例のように、通常再生時の番組 I 1 の上部にコマーシャル I 2 の静止画像が再生される順序に従って整列して表示される。

#### 【 0 0 5 1 】

図 6 は、本発明の第 2 の実施形態における、放送データの再生動作の例を説明するためのフローチャートである。

#### ステップ S T 3 1 :

図 7 のように表示画面に整列して表示されるコマーシャルに対応した画像が、入力部 8 に入力されるユーザからの指示 S c によって視聴対象として指定されているか否かが判断される。例えば、リモートコントローラからコマーシャルを指定する番号などが入力されることにより、特定のコマーシャルが視聴対象として指定される。視聴対象のコマーシャルが指定された場合には、現在再生中の番組が中断されて、ステップ S T 3 2 に処理が移行される。

#### 【 0 0 5 2 】

#### ステップ S T 3 2 :

指定されたコマーシャルが記憶部 3（図 2 においては記憶部 1 3）から読み出

されて再生される。また、このコマーシャルの再生後、再生部の表示画面上にこのコマーシャルが再生済みであることを示す画像や文字・図形が表示される。

あるいは、このコマーシャルに対応する画像や文字・図形を、コマーシャルの再生後に表示画面上から消去させても良い。この場合には、コマーシャルを全て視聴し終わった状態において、表示画面からコマーシャル部分が全て消去される。

#### ステップST33：

ステップST32において再生されたコマーシャルに再生済みであることを示すフラグが設定され、再びステップST31に処理が戻される。

#### 【0053】

#### ステップST34：

ステップST31においてコマーシャルが指定されていない場合、このステップにおいて、再生中の放送データがコマーシャルであるか否かが判断される。コマーシャルである場合には、さらにこのコマーシャルに対して再生済みのフラグが設定されているか否かが判断され、再生済みフラグが設定されている場合には、ステップST36に処理がスキップされ、このコマーシャル部分は再生されない。

#### 【0054】

#### ステップST35：

ステップST34において再生される放送データがコマーシャルでないと判断された場合、またはコマーシャルであっても再生済みでないと判断された場合には、この放送データが記憶部3（図2においては記憶部13）から読み出されて再生される。

#### 【0055】

#### ステップST36：

番組の再生を終了させるか否かが制御部7（図2においては制御部18）において判断される。例えば記憶部3（図においては記憶部13）に記憶されている放送データが終了した場合や、入力部8（図2においては入力部19）からユーザに番組の再生終了を指示された場合に番組の再生を終了させ、このような再生

終了の条件にない場合にはステップ S T 3 1 に処理が戻されて放送データの再生が続行される。

【0056】

以上説明したように、本実施形態に係る図 1 または図 2 に示した情報再生装置によれば、順次供給される一連の放送データが、供給される順序と関連付けて記憶部 3（図 2 においては記憶部 1 3）に記憶される。また、この放送データに含まれる所定の識別情報に基づいて、放送データのコマーシャル部分がコマーシャル検出部 6（図 2 においてはコマーシャル検出部 1 7）に検出される。放送データの再生時に、一連の放送データが記憶部 3（図 2 においては記憶部 1 3）から供給順序に応じて順に読み出されて再生部 5（図 2 においては再生部 1 6）で再生されるとともに、検出されたコマーシャル放送情報に対応する画像情報が生成されて、一連の放送データの再生画像に合成されて再生される。また、入力部 8（図 2 においては入力部 1 9）に視聴対象のコマーシャルを指定する信号が入力された場合、この信号によって指定されたコマーシャルが記憶部 3（図 2 においては記憶部 1 3）から読み出されて再生され、以降この一連の放送データの再生において、再生済みのコマーシャル部分は再生されずに飛び越され、次に続く放送データが再生される。したがって、再生される番組に含まれるコマーシャルに対応する画像や図形・文字が再生画面上でユーザに示されるので、コマーシャルを確実にユーザに視聴させることができる。また、ユーザは任意の時点に任意の順番でコマーシャルを選択して視聴できるので、従来受身の状態でコマーシャルを視聴させられていたユーザに、自らの意思でコマーシャルを選択して視聴する機会が与えられ、普段は退屈なコマーシャルの違った視聴方法がユーザに提供されるので、コマーシャルの広告としての効果を高めることができる。

【0057】

【発明の効果】

本発明によれば、ユーザにコマーシャルを確実に視聴させることができる。また、コマーシャルの従来とは違った視聴方法がユーザに提供されるとともに、ユーザの意思に応じてコマーシャルの視聴方法が指定できるので、コマーシャルの広告としての効果を高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明に係る情報再生装置の構成例を示す図である。

【図 2】

本発明に係る情報再生装置の他の構成例を示す図である。

【図 3】

本発明の第 1 の実施形態における、放送データの記録動作の例を説明するためのフローチャートである。

【図 4】

本発明の第 1 の実施形態における、放送データの再生動作の例を説明するためのフローチャートである。

【図 5】

受信される放送データの一例を示す図である。

【図 6】

本発明の第 2 の実施形態における、放送データの再生動作の例を説明するためのフローチャートである。

【図 7】

放送データの再生画像の例を示す図である。

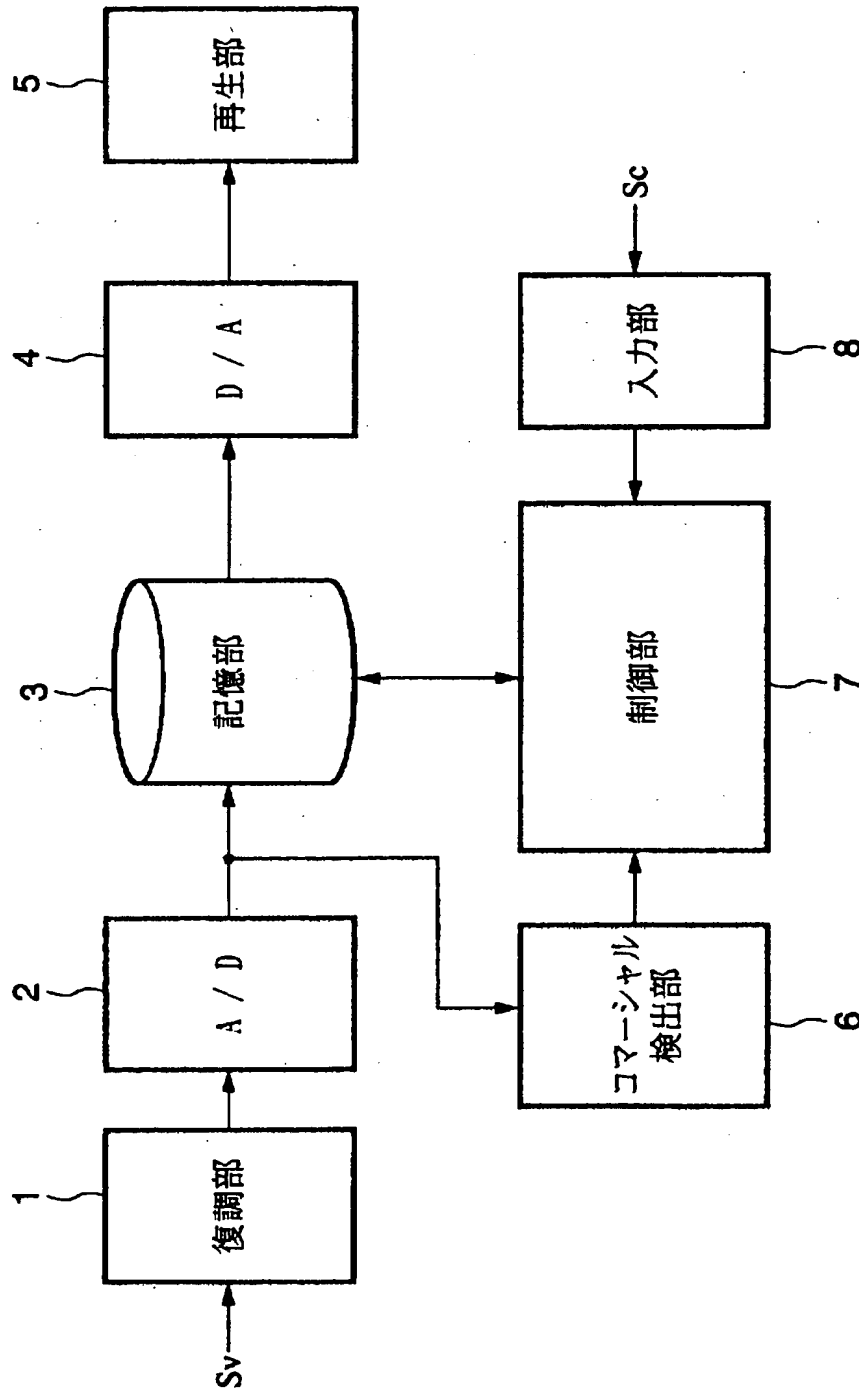
【符号の説明】

1 …復調部、2 …A/D変換部、3 …記憶部、4 …D/A変換部、5 …再生部、6 …コマーシャル検出部、7 …制御部、8 …入力部、11 …復調部、12 …パケット分離部、13 …記憶部、14 …デコード部、15 …D/A変換部、16 …再生部、17 …コマーシャル検出部、18 …制御部、19 …入力部

【書類名】

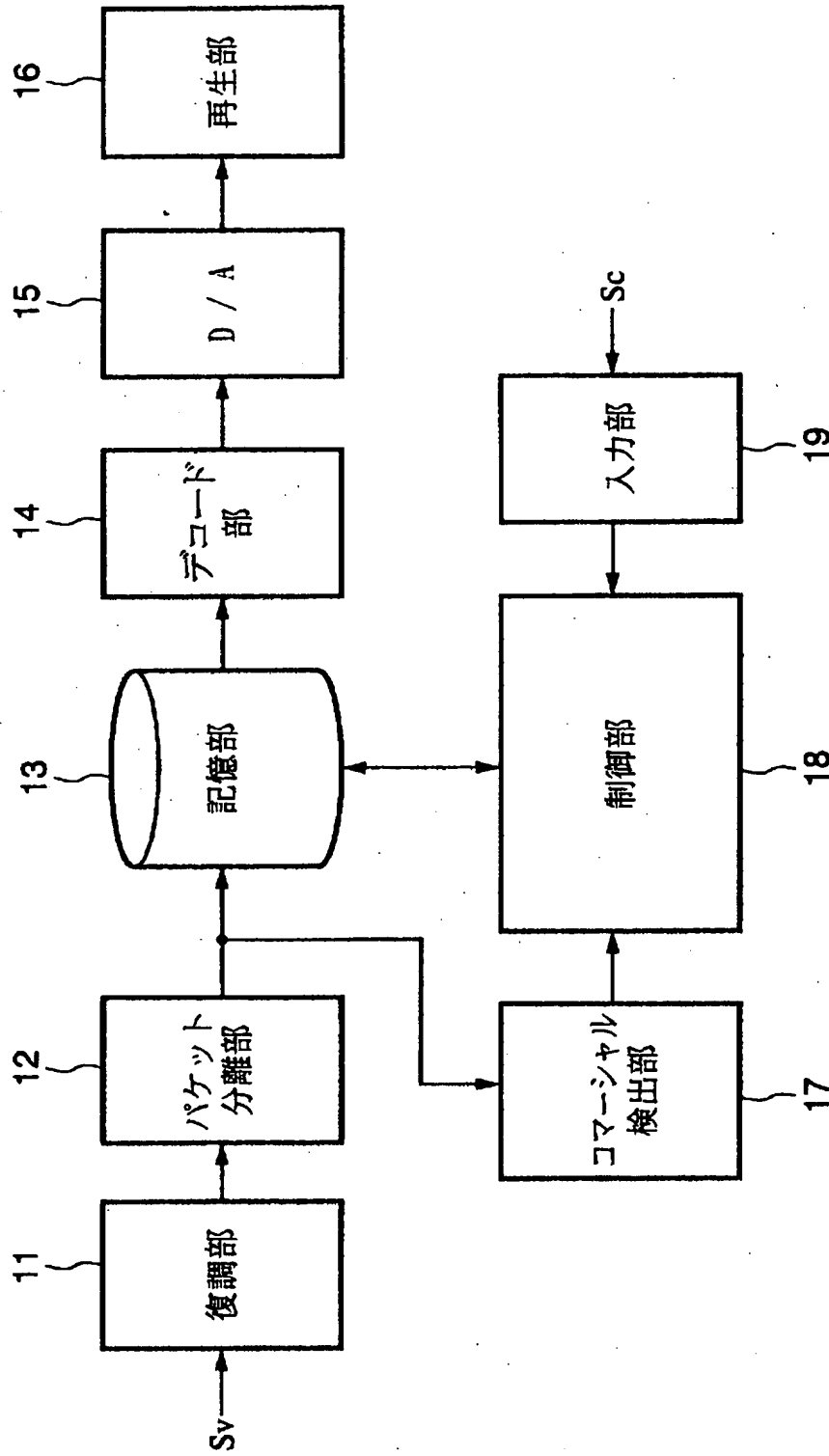
図面

【図 1】



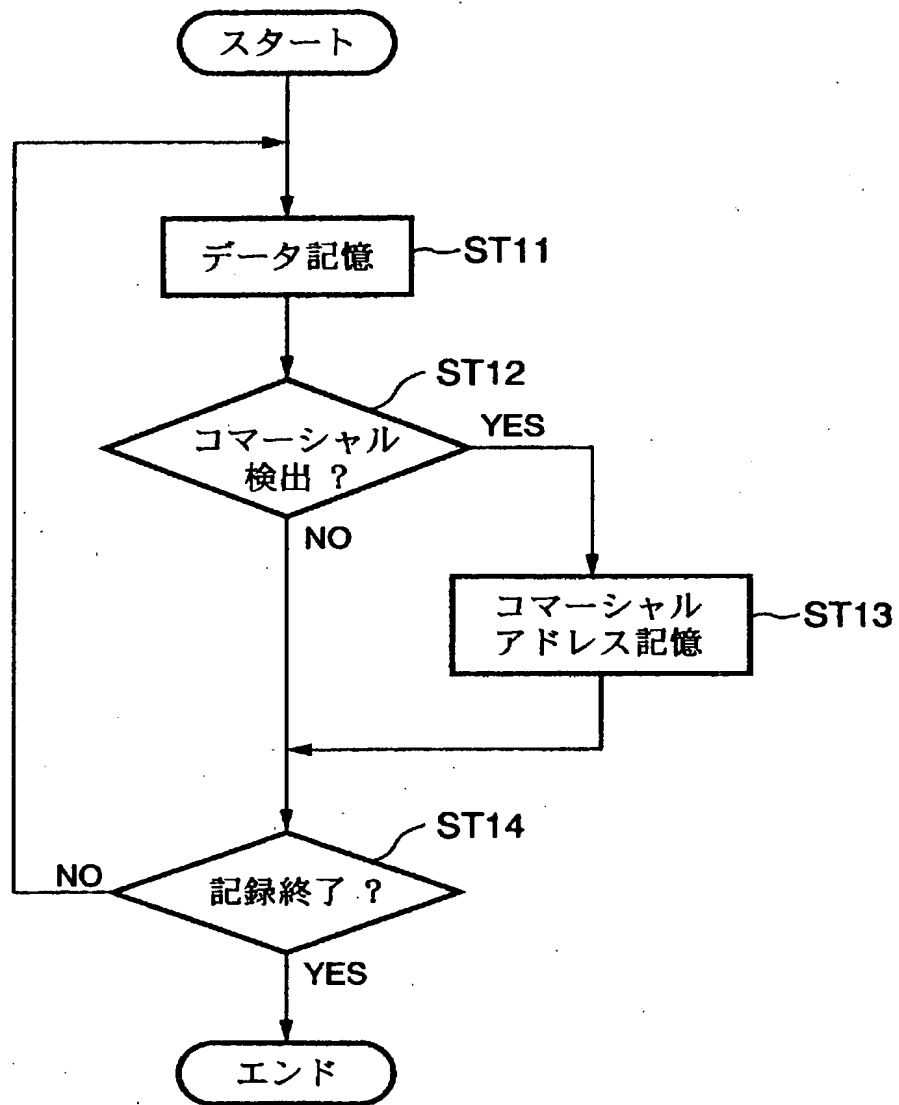
100

【図 2】



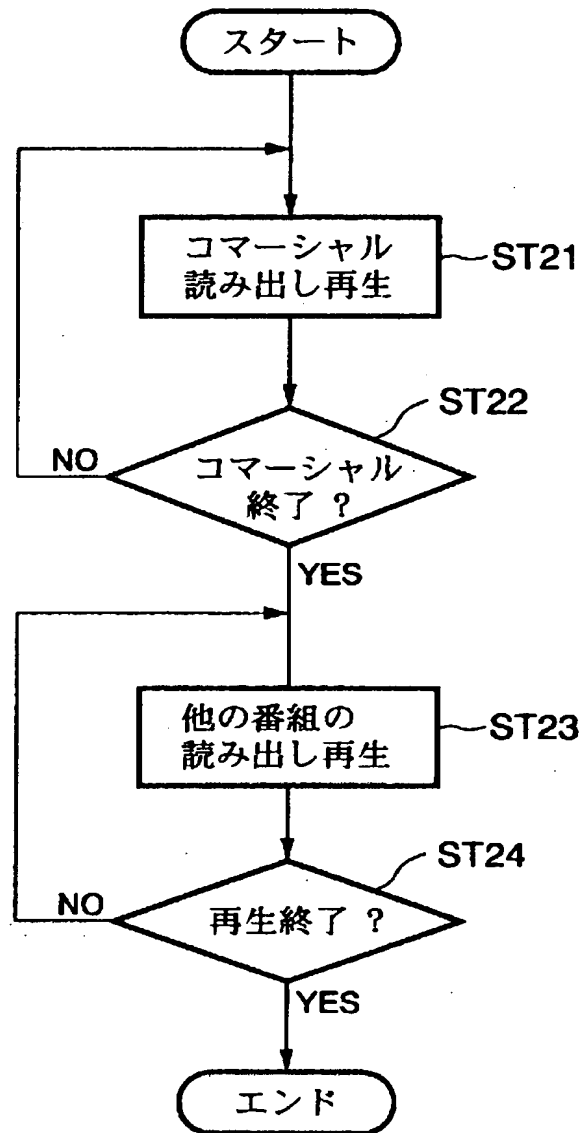
101

【図 3】

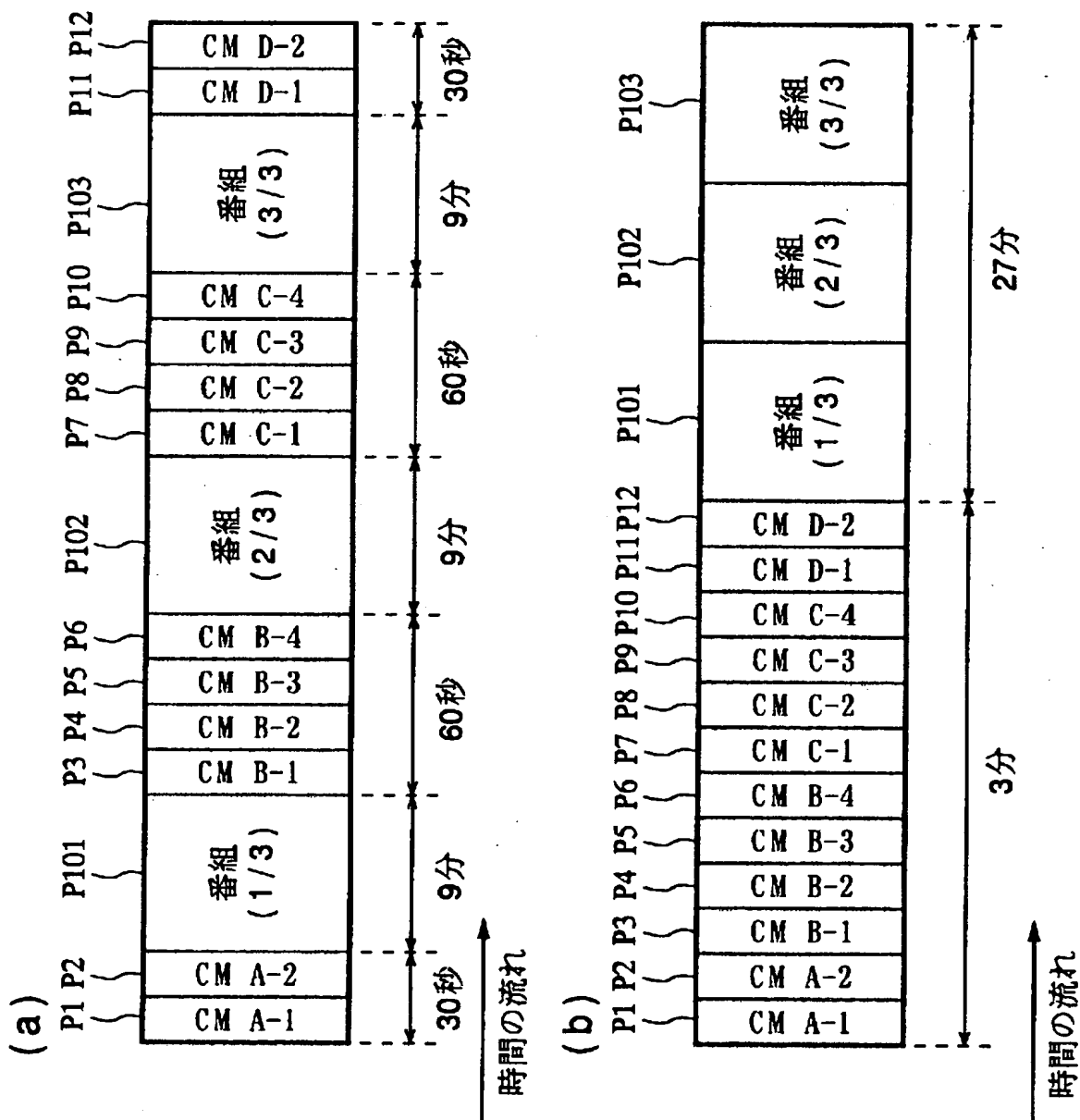




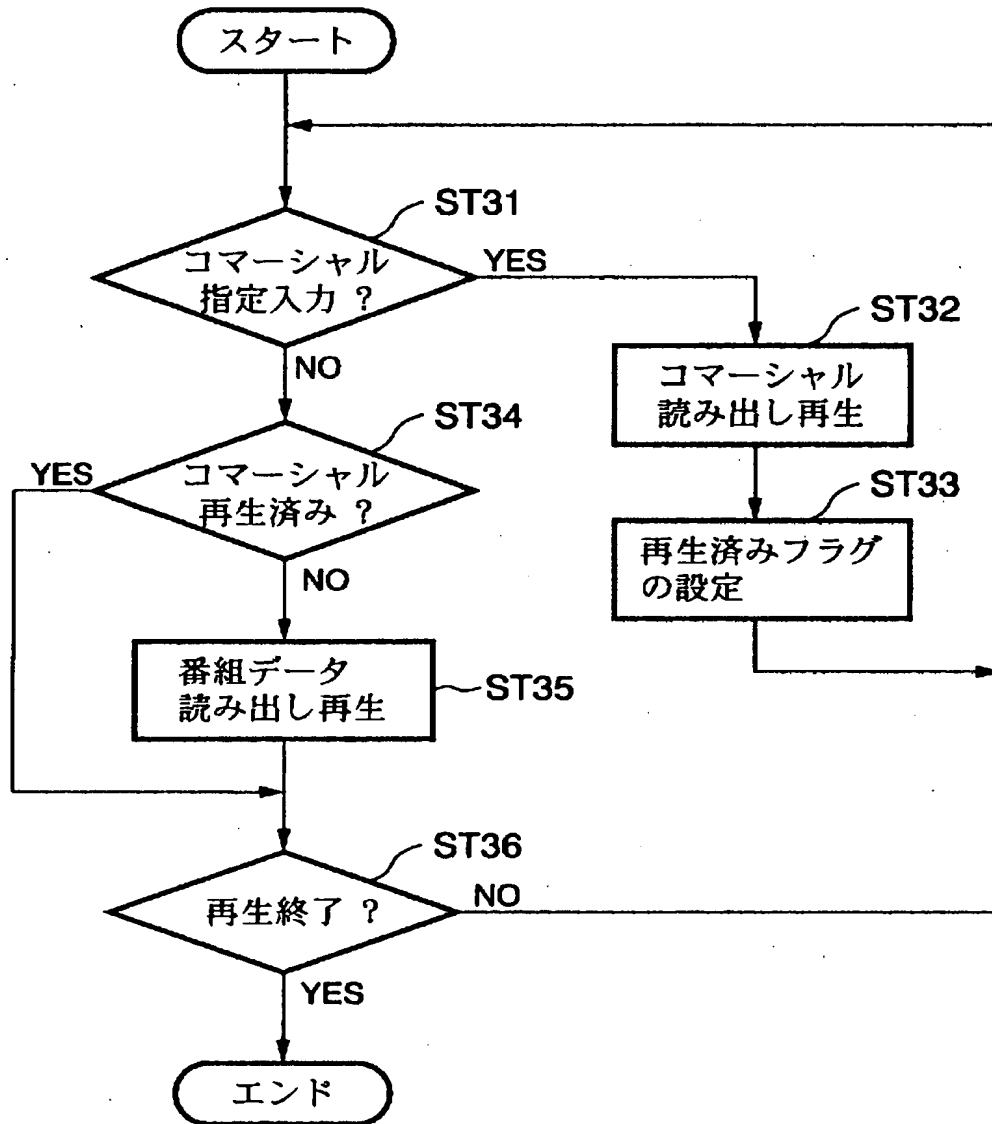
【図 4】



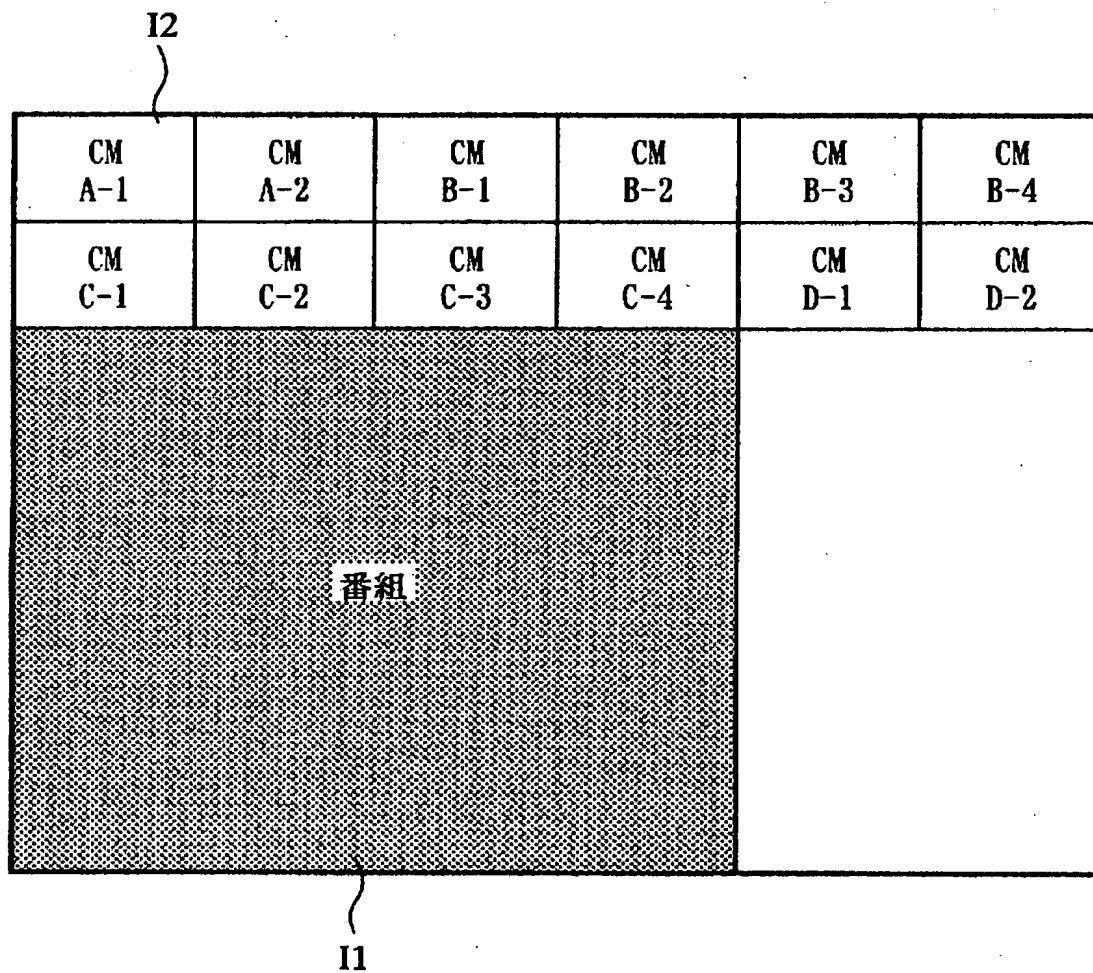
【図5】



【図 6】



【図 7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 放送情報に含まれるコマーシャル放送情報を視聴者に確実に視聴させる情報再生装置およびその方法を提供する。

【解決手段】 順次供給される一連の放送データが、供給される順序と関連付けて記憶部 3 に記憶される。また、この放送データに含まれる所定の識別情報に基づいて、放送データのコマーシャル部分がコマーシャル検出部 6 に検出される。放送データの再生時に、この検出されたコマーシャル部分がまず記憶部 3 から順に読み出されて再生部 5 において画像や音声などに再生される。そして、この検出されたコマーシャル部分が全て再生された後に、コマーシャル部分を除く他の一連の放送データが供給順序に応じて記憶部 3 から順に読み出され、再生部 5 において再生される。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000002185]

1. 変更年月日 1990年 8月30日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都品川区北品川6丁目7番35号

氏 名 ソニー株式会社